

令和3年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学

代表学生：亀山 文音

指導教員：藪谷 祐介

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>まちの美術館-新たな町家活用モデルの提案と展覧会の実践-</p>
<p>研究概要</p>	<p>高岡市吉久の地域資源の一つである町家を美術館に見立て、家やまちの「記憶」をテーマに展覧会を開催する。吉久まちづくり推進協議会、高岡市教育委員会の協力を得、「さまのこアートinよっさ」の一環として実施し、富山大学芸術文化学部講師の長田堅二郎氏、平田昌輝氏の作品を展示する。吉久や町家の魅力発信の方法としての有効性を検証することを本研究の目的とし、展覧会の来場者を対象としたアンケート調査によって効果検証を行う。</p>
<p>これまでの活動状況と今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>現地調査を重ね、町家の現所有者・元住人へのヒアリング、実測調査を行い、企画に取り組んできた。広報では、ポスター、チラシ、特設サイト、SNS アカウントを作成した。会場の清掃も行い、10月16日から22日まで展覧会を開催する。会期中には来場者を対象としたアンケート調査を行い、会期終了後には町家の所有者、作家を対象としたヒアリング調査を行う。また、展覧会の映像・写真を撮影し、記録映像・記録集を作成する。記録集は吉久まちづくり推進協議会をはじめとする関係者に配布する予定である。記録写真や映像を上映し、展覧会の振り返りを行い、町家の魅力発信の方法、新たな活用モデルとしての有効性についても議論する機会を設けたいと考える。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民と共同で行う清掃活動は中止とした。 ● 展覧会は事前予約制で開催する。



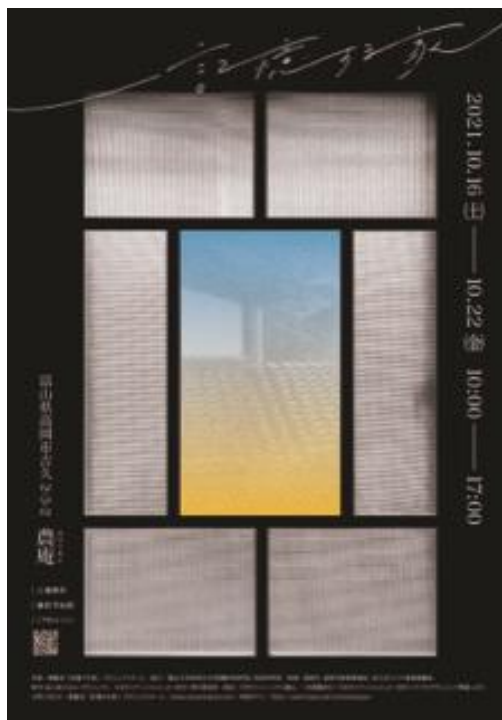
町家の現所有者・元住人へのヒアリング風景



実測風景



作品搬入風景



ポスター・チラシ（表面）デザイン